

# いのちまもる

## キャラバン行動ニュース

第7号

2013年10月10日

日本医労連

TEL : 03-3875-5871

FAX : 03-3875-6270

### 県民の命まもる看護師増員を

### 岩手県議会・環境福祉委員会で採択！！



10月7日、岩手医労連は岩手県議会千葉伝議長(上写真・中央、下写真・左)に対し職員増員の請願を行い、3か月で集めた「県立病院の職員定数拡大・大幅増員を求める請願」3万7476人分の署名を提出しました。

中野るみ子中央執行委員(下写真・右)をはじめ夜勤明けの看護師らがかけつけました。中野中央執行委員は「県立病院での時間外労働が日常化し、職員は慢性疲労状態で働き続けている。」「こうした状況ではゆとりも生まれず、重大な医療ミスにつながりかねない」と現場の実態を伝え、「たくさんの患者や家族から応援してもらっている。職員増につなげて欲しい」と求めました。



千葉議長は「県立病医院には震災の際に頑張ってもらった。医師、看護師などのマンパワーが足りないのは承知している。県民の命を守る人たちの人員を増やすために、努力したい」と回答しました。

10月9日、「県民に安全・安心の医療を提供するため県立病院の職員定数拡大・大幅増員を求める請願」は岩手県議会・環境福祉委員会で、全会一致で採択されました。

#### 岩手県医療局労働組合(県医労)の請願項目

- ①医療局職員の定数を大幅に拡大する
- ②県立病院で働く医師・看護師など、医療従事者を大幅に増やす



# 日本医師会訪問、協力を呼びかける



「いのちまもる10・24国民集会」への賛同を求めて、

全国保険医団体連合会をはじめ医療団体らでつくる集会実行委員会は10月2日、日本医師会の今村聡副会長と懇談しました。実行委員会から保団連の住江憲勇会長、日本医労連

の鎌倉幸孝副委員長、三浦宜子書記次長、全日本民医連の石川徹副会長、長瀬文雄事務局長、日本医療福祉生協連の藤谷恵三専務理事らが参加。医療・社会保障の充実に向けて集会への日医の協力を呼び掛けたほか、患者負担軽減、診療報酬の改善などについて意見交換を行いました。

住江会長は、「税と社会保障の一体改革、TPPの参加など、国民生活、医療に大きな影響を与える問題が推し進められている。いのちをまもる、医療・社会保障の充実を最優先する政治へと変えるために、医療界が一致して国民とともに声をあげることが必要だ。国民集会を、共同を広げる機会として大きく成功させたい。日本医師会からお力添えをお願いしたい」と訴えました。対し、今村副会長は「TPPの問題もあるが、国内の規制改革の動きに強い懸念を抱いている。国家戦略特区での混合診療の全面解禁など、国内の規制改革によって制度に穴が明けられるのではないかと危惧している。思いは共有している」と応じました。また、日本医労連は、「医師・看護師不足、長時間労働など医療現場の労働環境はいまだ改善されておらず、勤務医に対するアンケートでは健康に不安がある方が約5割いた。集会でも医療従事者の増員と地域医療の確保を位置付けている」と紹介すると今村副会長は、「日医としても医療従事者の健康なくして医療の安心・安全はないという立場から、実態調査を行うなど重視して取り組んでいる」と応じました。

## こなつ増員署名ランキング♪♪



愛知	1,920
全医労	911
岡山	837
島根	508
埼玉	453
北海道	374
茨城	157
福岡	105
岩手	89
大阪	59
福島	49
ユニオン	10



(※10月8日現在報告組織)